

支所だより

東予・丹原・小松の各総合支所管内での、身近な出来事や話題などを紹介するコーナーです。

東予総合支所

〒799-1394 周布349番地1 TEL0898-64-2700 FAX0898-65-4363

今年一年の無病息災を願って

～とうどうさん～

毎年1月の上旬から中旬にかけて、藁(わら)を高さ数メートルの円錐形に巻いたものが各地の広場や田んぼに見られます(東予地区は約30カ所と多い)。

これは「とうどうさん」と呼ばれる、正月の伝統行事の一つです(地域によっては「とうどさん」と呼ぶところもあります)。

「とうどうさん」は1月11日前後に、子どもが注連(しめ)飾りを集め、若い人が青竹を切り出し、骨組みを作り、高齢者が縄をない、婦人が炊き出しをするなど、地域の三世代の者が力を合わせて作ります。

1月15日頃の早朝には、人々が集まって火をつけて

はやし(燃やし)ます。このとき、古いお札も一緒に燃やします。そして、燃えている「とうどうさん」の上に「吹き抜き(吹き流し)」をかざします。これが高く上がるほど、その年は幸運であり豊作であると言われています。また、残った灰で餅を焼いて食べると、その年が無病息災で過ごせるとも言われています。



三世代で力を合わせて作る「とうどうさん」

丹原総合支所

〒791-0592 丹原町池田1733番地1 TEL0898-68-7300 FAX0898-68-4769

ふるさとの歴史と民具 再発見

～丹原ふるさと歴史館～

丹原ふるさと歴史館は、丹原総合支所の東隣りにあり、常設展示の主たるものは、旧丹原町内の発掘調査により出土した土器類や旧周桑郡内を中心に調査した宝篋(ほうきょう)印塔の写真や説明図60点、郷土出身の玉井肅一氏が全国を巡って収集した岩石標本(西条市指定文化財)など



熱心に説明を聞く小学生

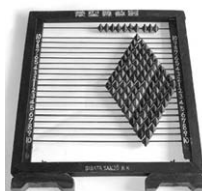
です。ほかにも川根地区で焼かれていた川根焼、徳能地区で大量に出土した古銭など興味深い展示品も数多くあります。

また、昔懐かしい農具や民具450点も保管されており小学生の学習にも利用されていますが、こちらは学術調査のための申し出がある場合のみ見学できます。

小・中学生が団体の学習用に見学する場合は、開館日以外も開館して説明しますので、事前にご相談ください。

■開館日 毎週土・日曜日(年末・年始を除く)
9時～17時

■問合せ 市教育委員会西部分室 TEL0898-64-2700



【菱型算数器】

左写真の菱型算数器は1977(昭和52)年に田野小学校から寄贈されたものですが、使用方法がよく分かりません。ご存じの方がいらっしゃいましたら、市教育委員会西部分室までお知らせください。

小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地 TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048

時を越えて「大切な思い」お届けしました

～合併10周年記念事業「未来への手紙」～

旧小松町では、合併前に10年後の自分や家族、友達など大切な人へ宛てた未来への手紙を募集し、小松町閉町式典でタイムカプセルに入れて封印し、大切に保管してきました。

合併10周年を迎えた今年11月1日にタイムカプセルを開封し、手紙に記念品の椿絵はがきを添えて、皆さんにお届けしました。

蔵をイメージしたタイムカプセル

今は亡き母から家族に宛

てた思いや妻から夫への育児などに対する感謝の思いなど、手紙を受け取られた方からは「身近な人でも、普段声に出しては言い出せないこともあり、手紙にはそんな思いが込められていました」との感想が聞かれました。インターネットが普及し、日常的に電子メールなどを使ったコミュニケーションが多くなった現代において、10年の時を越えて届いた、見覚えのある手書きの文字に、相手を想い、温かさや懐かしさを感じた方もいたのではないのでしょうか。



小松固有品種の椿をデザインした絵はがき